

INDOOR AIR 2016 でのポスター発表

2016年7月3日-8日にかけてベルギーのアントワープで開催された「The 14th International Conference of Indoor Air Quality and Climate (Indoor Air 2016)」に参加しました。この学会は、室内環境に関する研究を中心とした学会であり、世界各国から様々な分野の研究者が集まり、議論が行われました。



私は、「Concentrations of new flame retardants in house dust from Japan」というテーマで、3分間の口頭発表およびポスター発表を行いました。室内用品に添加された一部の難燃剤は残留性有機汚染物質になっており、規制されているため、多種類の新たな代替物質が使用され始めましたが、物質の種類と有害性に関する情報が不足しています。そこで、日本の一般住宅で採集したハウスダスト中にある新規難燃剤の種類と濃度の調査を行い、結果を発表しました。

今回の国際学会発表は、今までの研究成果を出した上で、たくさんの研究者と意見交換することにより、今後の研究進捗についても貴重な機会となりました。しかし、英語でプレゼンテーションやディスカッションなどを行うときに、自分の考え方を相手に伝え切れないことを実感し、自分の英語力を磨く意欲が高まりました。

薬食生命科学総合学府 環境科学専攻 大気環境研究室
博士後期課程3年 王 齊